

	事業名	連携・協働の内容	実施時期	区分	所管課	学生の参加状況	学生の意見等
1	日中外国語大学と地域住民との「絆」交流促進事業	北京外国語大学を中心とした中国人学生15人と東京外国語大学を中心とした15人の大学生計30人を対象として、活動研究テーマを設定し、地域住民との膝を交えた交流を図りながら、調査研究を行い、報告書を作成する。 ※日中交流学生団体「京英会」が主催する「日中相互訪問プロジェクト2016」における地方見学として実施する。	8月16日～18日	非公募	市民協働課 53-2215	<京英会> 北京外大等11人 東京外大等15人 <事業受託側> 学生団体With 福井県立大学等10人	・学生同士のディスカッションを介して、国境を越えると教育や恋愛、マナーについて自国とは全く異なった価値観があることを実感できた。 ・学生の提案により日中に関するクイズ対決や絵しりとりなど、学生ならではの遊びを通じた交流が楽しかった。また、二人羽織、炭坑節などを体験することができ、日本の伝統に触れる機会を設けてもらえて日本に来た甲斐があった。
2	男女共同参画地域推進委員会事業	地域における男女共同参画を推進する「地域推進委員」が企画・実施するイベントで、学生が活躍できる場を提供し、相互理解を深める機会とする。	未定	非公募	市民協働課女性活力・人権推進室 53-2214	地域推進委員会による市内高校生に選挙制度・さばえ市政に関するアンケートを実施。アンケートを基に11月3日市議会議員との懇談会に各高校代表13名が出席し、市議会議員、市民、地域推進委員と今後の鯖江市について意見を交わした。	・大人の人が本当にさばえが大好きだとよくわかった。 ・鯖江は改めてよい街だと思った。 ・政治に触れる機会がなかったので考える機会があってよかった。 ・自分が考えたこともなかったようなことなど、多く話し合えてよかった。
3	全国OCサミットin鯖江	大会前日準備、大会当日ボランティア	9月2日～3日	非公募	市民協働課女性活力・人権推進室 53-2214	学生団体With 10名	まちづくりに携わる大人の方の熱意をじかに感じて刺激を受けた。実行委員の思いがこもった大会に触れたことにより、自分たちも大きなことが出来ると考えた。
4	鯖江市の魅力発信	鯖江市内の風景やイベントなどを撮影した写真の提供をしてもらい、鯖江市の公式ホームページなどで紹介・公開する。	通年	非公募	秘書広報課 53-2203	丹南高校 17点 丹生高校 35点	市HPのトップページに掲載され、3年生にとっては卒業の記念になるとともに、たくさんの人に見てもらえるということでもモチベーションが上がり、よりよい作品づくりにつながる。
5	明治大学との連携事業 鯖江ブランド創造プロジェクト	「鯖江市の強みと地域が抱える課題」を学生が取材し、そこから学生たちが鯖江市に対してどんな価値を提供できるか＝「鯖江ブランドの創造」>を考え、提言する。	9月	非公募	地方創生戦略室 53-2263	7月8日に大学で事前研修を行い、9月14日～18日の5日間、6人の学生が2グループに分かれて河和田地区でフィールドワークを実施。また、10月23日に明治大学で「ふるさと応援隊」としてPRを行った。	地元の方が本当に喜んでくれる活動を継続していけたらよいと思います。
6	金沢大学 まちづくりインターンシップ	まちづくり団体等ハイインターンシップを行い、市および団体にまちづくり提案を行う。	8月	非公募	地方創生戦略室 53-2263	金沢大学地域創造学類地域プランニングコースの学生3名が、8月17日～30日の14日間、鯖江市でまちづくりインターンシップを行った。	・自分の実力不足や思慮に欠けることを知る経験としてはこの上ないくらい素晴らしいものとなったので、私たちにとっては素晴らしいインターン活動になったと思う。 ・多くの鯖江市民の協力のもとで様々な経験をさせていただくとともに、グループ活動での自分の長所と短所を見直すことができ、それまでの自己評価と比較することができた。 ・普段、行動するのが遅いタイプであるが、グループワークだということがあったためか、しっかりと行動することができたように思う。
7	誠市	中心市街地の活性化を目的に開催される誠市への集客力アップと街なかの賑わいを創出するため、企画・運営に参加していただく。	(4月～12月、3月の第2日曜日6:00～14:00)	非公募	商工政策課 53-2230	仁愛大学から月1回の誠市実行委員会に1名出席し、こども向けのイベント等を企画。イベント当日にはそれぞれ、5名前後が参加。	様々な世代の方とふれ合える貴重な機会となった。自分たちの企画の反省点を改善し、次の事業内容を検討することができいい経験となった。

事業名	連携・協働の内容	実施時期	区分	所管課	学生の参加状況	学生の意見等
8 鯖江市地域活性化プランコンテスト	鯖江市地域活性化プランコンテスト実行委員会にスタッフとして参加していただく。	9月	公募	商工政策課 53-2230	運営 福井県立大学18人、仁愛大学2人 福井大学2人、福井高専1人 福井工業大学1人、福井大学大学院1人 合計 25人 参加者 東京大学9人、同志社大学2人 一橋大学1人、東北大学1人 東京理科大学1人、東京外国語大学1人 筑波大学1人、中央大学1人 佐賀大学1人、慶応義塾大学1人 東京大学大学院1人 筑波大学大学院1人 神戸大学大学院1人 京都大学大学院2人 合計 24人	運営の大部分を任せていただいたことにより、コンテストの成功が自信につながり、自己の成長につながったと感じています。
9 学生活動拠点(らてんぼ)活性化事業	中心市街地の商店や住民と交流を図りながらイベントを開催するなど、街なかの賑わいに繋がる事業を展開していただく。	通年	非公募	商工政策課 53-2230	学生団体withの活動拠点として活用。 学生団体withを含め、延べ500名以上参加。	会議の場としてらてんぼを利用しており、街なかで自由に使える施設ということで大変重宝している。 地域活性化プランコンテストなどのイベントを通して街なかの商店の方たちとふれあう機会もあり、鯖江のことを知ることができた。
10 うるしの里活性化推進事業(河和田アートキャンプ)	県内外の学生をうるしの里河和田地区に受け入れ、学生の持つ知性・感性・創造性を有効活用しながら、河和田地区内の豊かな地域資源である「越前漆器産業」や「眼鏡産業」などの地場産業をはじめ、田園や里山などの自然環境を活用した地域づくりを創造する。	通年	非公募	商工政策課 53-2231	京都精華大学 43人 京都造形芸術大学 16人 京都外国語専門学校 1人 近畿大学 1人 同志社大学 1人 文化服装学院 1人 計 63人	参加した学生からは、本事業を通して得られた貴重な経験に対する感謝が寄せられており、リピーターとして次年度以降も参加したいなどの意欲的な意見が聞かれる。
11 京都精華大学連携ものづくり博覧会告知ツール制作事業	ものづくり博覧会の開催を告知するツール(ポスター等)を、京都精華大学の学生から募集する。	4月～8月	公募	商工政策課 53-2229	京都精華大学学生作品 3点 福井工業大学学生作品 12点	最優秀作品1点については、デザインした作品が実際に世に発表されることが非常にうれしいという意見が聞かれた。
12 丹南高校連携地場産業後継者育成事業	丹南高校の特徴(地域総合学科)を活かした事業を展開することで、地場産業への関心を高めるとともに就業機会の向上を図る。	7月～11月	非公募	商工政策課 53-2229	1年生 30名 〈市内デザイナーによる講義〉 2年生 36名 〈河和田地区工房見学〉 3年生 30名 〈市内デザイナーによる講義〉	市内で活躍しているデザイナーの話をきいて、人との関わり方や人を巻き込んでいく力の大切さを学んだ、必要なものは自分の力で形にすることがデザインのかたと気付いた、などの意見があった。
13 うるしの里マイスターロード事業	連携協定締結際には、伝統工芸を学ぶ大学生を鯖江に招き、小学生と漆の記念植樹を行う。また5月～6月に、河和田の工房を巡るバスツアー、さらに夏休み中には、長期間インターンシップとして工房で働く。	4月～9月	非公募	商工政策課 53-2229	産地見学会 京都伝統工芸大学校 23名 インターンシップ 京都伝統工芸大学校 1名 京都嵯峨芸術大学 1名 福井工業大学大学院 1名	学校で授業として扱われるうるしと違い、実際に商品として扱ううるしを見学することにより、今後漆芸職人として自分が働いていくイメージを膨らませることができた。

事業名	連携・協働の内容	実施時期	区分	所管課	学生の参加状況	学生の意見等
14 さばえブランド特産物販売戦略推進事業	1 本市にゆかりのある若者たちに本市のブランド野菜や農商工連携商品を全国にPRしてもらい、販路拡大につなげる。 2 鯖江産野菜等の食材について、ブログやツイッターに食感や味などの感想を載せてもらい、情報交換の中で、ロコミでの広がり誘発する。 3 大学学園祭等のイベントで、学生の協力により鯖江の食材を販売PRし、農産物の販路拡大につなげる。	通年	非公募	農林政策課 53-2232	3名 明治大学のホームカミングデーに出店し、学生の協力を得て、特産農産物の販売PRを行った。	大学の創立者の出身地や鯖江産特産物について理解を深めることができた。
15 こどもエコクラブ活動交流会	「こどもエコクラブ活動交流会」の運営にボランティアスタッフとして参加して、環境市民の育成を推進する。	平成29年2月	非公募	環境課 53-2227	福井大学生8名	多くの来場者があったのでやりがいのある出展になったし、また、多種多様な出展団体があったのでその活動が自分たちの活動の参考になったとの意見があった。
16 鯖江つつじマラソン	円滑な大会運営と地域ぐるみの大会を目指し、競技役員として参加いただく。	平成28年5月8日	非公募	スポーツ課 53-2260	福井県立丹南高等学校生徒20名	鯖江王山クラブの活動の一環として、今後も協力していきたいとのことである。

※ 非公募事業とは、すでに個別に交渉を行って進めている事業などで、相手方が特定されている事業のことです。また、項目の仕分けは、主たるものに分類しています。

その他学生の活動について

事業名	事業の概要	実施時期	主催団体	市の支援の内容
1 鯖江来訪者おもてなしプロジェクト	①サンドームで行われるライブのために鯖江に訪れた人を対象にJR鯖江駅にて物販、記念撮影コーナーを設置しおもてなしを実施。駅前周辺マップを作成し、商店街への誘客も行った。 ②つつじまつり期間中にブースを設け、無料で記念撮影サービスを実施。撮影した写真を後日送付するサービスも行った。その他にも地元パン屋とコラボしたSANオリジナルのパンの販売等を行った。 ③鯖江市役所JK課主催の全国高校生まちづくりサミットに参加するべく全国から集まった高校生を対象に、市役所を使った肝試し	①4月23日、24日 ②5月3日～5日 ③8月27日	若者部会SAN 福井高等20名	平成28年度まちづくり基金事業補助金を交付。 イベントの際に市民協働課職員がスタッフとして参加。
2 『恋灯路-こいとうろ-』つつじまつりライトアップ	西山公園のライトアップ期間（つつじまつり期間とその後一ヶ月間ほど）に合わせて、3種類の自作した灯籠を登山道に約60個設置。夜の空間デザインをすることでライトアップ期間中の西山公園来訪者増加を狙う。	4月29日～5月20日	mei 福井大学9名 ※つつじまつり実行委員会と組んで、「つつじまつり恋灯路実行委員会」を立ち上げ実施。	平成28年度まちづくり基金事業補助金を交付。 ※上記以外に都市計画課、商工政策課が事業への助言等を行った。